

SANS FRONTIÈRES

vol.32

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryu.ac.jp/>

大学出張模擬授業

11月8日(木)、大学の先生をお招きして、1、2年生を対象に出張模擬授業が行われました。今年度は千葉科学大学に加え、初めて国際医療福祉大学の先生にもおいでいただきました。それぞれの講座の内容を紹介します。

千葉科学大学 薬学部

千葉科学大学 薬学部からは、森正博先生より「記憶のメカニズム」という演題でお話をいただきました。「勉強方法」という身近な観点から、一夜漬け型の暗記がなぜ定着しないか、記憶に差が出るノートの取り方のコツなど、懸命にメモを取りながら話を聞こうとする様子が窺えました。特に一夜漬け型の勉強がなぜ悪いのかというお話では、記憶するまでの工程には「関連付け」「復習(review)」が大事であり、一夜漬けでは知識がただの認識にとどまってしまい工程ができていない事が理由だという説明を聞いて、自分の勉強方法ときちんと向き合うべきだと納得した生徒もいたようです。今回のお話から、勉強法のヒントを得た、今までの勉強のやり方がうまくいかなかった理由に気づいたという生徒の声を聞きました。自分たちの勉強の取り組み方を見つめ直す機会となり、貴重なお話を聞くことができました。



千葉科学大学 危機管理学部

千葉科学大学・危機管理学部からは「臨床工学技士のお仕事」という演題で、臨床工学技士について詳しいお話を聞きました。臨床工学技士は主に透析を行う人というイメージを持っている方もいると思いますが、手術室や集中治療室で機器を使用したり、病院の機器の点検・メンテナンスをしたりと、現在の病院には欠かせない職業で、気づかないところで病院の安全を守っている存在です。また、機械を扱うことに特化した医師のような存在であることもわかりました。これからの時代、ロボットで手術をする機会も増え、医療機器もさらなる進歩が見込まれます。臨床工学技士は今よりもっと大切な仕事になっていくと思われました。



国際医療福祉大学 保健医療学部 視機能療法学科

保健医療学部 視機能療法学科から鈴木賢治先生をお招きし、「眼のリハビリテーション」という演題で出前授業をしていただきました。なかなか認知されていない眼に関する内容に生徒は興味を持って、真剣に話を聞いていました。多くの生徒が、視能訓練士という職業について知らず眼科や病院で「視力検査を行う人」という印象でしたが、多くの検査や斜視・弱視の視能矯正も行うことを知り、興味・関心を広げられた様子でした。眼の病気は、特に身近なものなので、医療従事者を目指したいと考える生徒の進路選択の幅が大きくなったと感じる大変有意義な出前授業となりました。



国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科

国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科の佐藤友貴先生から「医療福祉におけるチームアプローチと声を取り戻すリハビリテーション」という演題で、お話を聞きました。

始めに「チーム医療」の大切さを教えて頂きました。チーム医療について、なんとなく知っている生徒が多い中、改めて基本概念や必要性について知ることができました。

また、言語聴覚士の仕事は、「話す」だけでなく、「食べる」という行為の訓練も含まれるという事を、初めて知る生徒も多くいました。そして、病気により喉頭全摘出し、声が出せないときに使う、電気式人口喉頭(喉に付け振動で音を出す機械)の体験も行いました。

今回の講演の中で、言語聴覚士が少ないと佐藤先生が、おっしゃっていたので、この講演をきっかけに言語聴覚士に興味を持つ生徒が増えていって欲しいと思います。



進学情報

今回は、県内の国公立大学（筑波大学・茨城大学・茨城県立医療大）との入試懇談会に参加した際に話題になったものを紹介します。現3年生からの変更点もありましたが、特に強調していたのは、現在の高校1年生が対象となる2021年度入試から大学入学共通テストの実施に伴い、各試験の内容を大きく変更するという点です。

【県立医療大学】

現3年生	現1年生からの変更点
現行の推薦入試の試験内容は次の通り 総合問題+小論文+面接2回	2021年度推薦入試から次のように変更。 総合問題+小論文+面接1回+ <u>集団討論</u>

【筑波大学】

現3年生	現1年生からの変更点
<p>本大学には一般入試、推薦入試の他にもさまざまな種類の入試方式がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>アドミッション・センター (AC) 入試</u> →自己推薦型(書類+面接)で、課題発見力、解決力を評価していく入試。 ・<u>国際科学オリンピック特別入試</u> →理数分野における秀でた人材の育成を応援するため、国際科学オリンピックに日本代表として選抜された人、代表選考などで一定の成績を取めた人を対象とした入試。 ・<u>国際バカロレア特別入試</u> →国際バカロレア資格を取得した者を対象として、探究心、信念をもって物事に挑戦する若者の育成をめざした入試。 <p>*上記以外にも入試方式あり。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際科学オリンピック特別入試の廃止 ・入学後学群学類が選べる「<u>総合選抜*</u>」を導入 <p>*総合選抜とは入学前に自分の専門学群を決めてしまうのではなく、入学後に自らの知的好奇心に任せ、大学での学びを主体的に計画したいと考える受験生のための入試。</p> <p>総合選抜入試の受験者は①文系②理系Ⅰ③理系Ⅱ④理系Ⅲのいずれかを選択し受験。 <u>入学後～1年生の終わりにかけて様々な分野を学び、1年の終わりに志望と成績に基づいて、所属する専門学群が決まる。</u></p> <p>この入試方法は全体の25%を募集人員としており、75%は従来の学類専門学群選抜入試と2つの入試方式で実施。</p>

【茨城大学】

現3年生	現1年生からの変更点
<ul style="list-style-type: none"> ・今年から<u>工学部の推薦入試</u>において<u>英語の基準</u>が設けられた。 <p>昨年の推薦入試配点は、調査書(20点)、面接+口頭試問(180点)の計200点だった。</p> <p>今年の推薦入試配点(現3年生)は、調査書(20点)、面接+口頭試問(180点)、<u>英語外部試験(100点)</u>の計300点となった。</p> <p>英語外部試験は英検スコア等により決まる。英検準1級で100点、2級で90点～、3級で25点～。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性を評価する・点数化する方向へ。 ・教員の作成する調査書より<u>ポートフォリオ</u>を重視していく。 <p>→受験者が教科学習だけでなく、部活動、生徒会活動、ボランティア活動に取り組む中で、どのように学びに向き合ってきたか、また主体性や協働性をいかに高めてきたのかを評価していくとのこと。</p>